

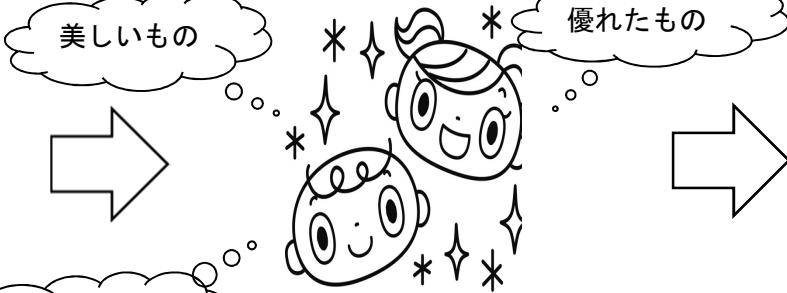


いしおかブロック保育研究委員会

一部抜粋

今回は、「表現」についてです。

表現とは



そこから何か感じとる

そこで生まれた様々な「思い」「感情」を言葉や体を使って、時には絵に描いて表すことを「表現」といいます。

心を動かす出来事

例えば

～こんなやりとりをしてみよう～

○積極的な共感を……子どもが雲を見て「わたあめみたい！」と言ったら「そうだね。おいしそうだね」や「食べてみたいね、どんな味がするかな？」

○見えないものを感じる…風鈴やウインドチャイムなどを見て、子どもが「きれいな音だね。」と言ったら「そうだね、涼しく感じるね。」など子どもの発想を大事にし、



子どもの表現をまるごと受け止めることが大切です！！

～豊かな表現を育むには～

子どもが色々なものを見たり、聞いたり、体験したりすることの中から生まれる表現には、これが正解！！というものはありません。子どもが生活のあらゆる場面での『気づき・思い・考え』を自分なりのやり方で伝え、その繰り返しによって表現にも工夫や広がりが見られるようになります。お子さんとの日頃のコミュニケーションを意識してみてください。そして、お子さんの素直な表現に共感してあげましょう。

**小学生になるまでに
こんなことできたらいいな…**

- 今日の出来事を家族に伝える
- 絵本を自分でも読む、物語を楽しむ
- 思ったことや自分の用件をはっきり言う

ちいさな手のひら

毎日仕事に育児、家事と何かと忙しく、大切なものを忘れがち…でも一度立ち止まってみて下さい。大変に思えるこの毎日に数えきれない「愛しい」がちりばめられている事に気づくはず。あなたの手をにぎりしめている、そのちいさな手のひら…「あなたがいてくれるだけでいい」その手があるからお母さんも頑張れるのではないのでしょうか。